

支援プログラム

作成日：令和7年2月1日

事業所名：社会福祉法人 愛の園福祉会
こども発達支援事業所
エールマリヤ

営業時間：平日9:30～17:00

送迎の有無：無

〔法人理念〕

「もっとも小さな者のひとりに仕える」

すべての子どもの「未知なる可能性」の開花に向けて、すべてのこどもたちの権利と生命、人間の尊厳のために、利用されるすべての人たちのために、地域社会とともに今できる最高のものをもって未来をひらくを基本理念とし、併設こども園との連携をはかりながら誰もが安心できるインクルーシブな子育てをサポートします。



支援方針

1. 食事・排泄・着替え等生活に必要な力
2. 遊びを通して人と関わることへの興味・関心
3. 自らやってみようとする意欲
4. 見て・聞いて・触れて・感じる、その子の感覚を大切に、豊かなことばやその土台となる力
5. 集団の中で必要なきまりを身に付け、生活できる力を育てていきます。

主な行事等

- * 併設こども園の夏祭りに参加
 - * 水遊び
- * 併設こども園の運動会に参加
- * 併設こども園のクリスマス会に参加
- * 併設こども園の発表会に参加
 - * 卒園児のお別れ会
- 併設こども園のイベント
(音楽会やしゃぼん玉てあそぼう会)に参加
 - * 月の誕生会
 - * 避難訓練

職員の質の向上

- ・専門的な知識技能の向上を目的に職員研修の実施
研修内容
- ・虐待防止について
- ・感染症の防止について・防災について
- ・BCP（事業継続事業）について
- ・構造化（TEACCH プログラム）について
- ・応用行動分析（ABA）について
- ・ペアレントトレーニングについて
- ・感覚運動について
- ・遊びの発達について

01

基本的生活習慣の形成

【健康・生活】

基本的な生活スキルは、子供の自立を支え、家庭や社会での適応力を高めます。

- ・着替え、食事、排泄、睡眠など視覚支援ツールを用いて練習する。
- ・おままごと等のやり取り遊びや絵本を用いて、基本的な生活スキルを学ぶ。
- ・視覚支援ツールを用いる等、児童に合わせた方法でわかりやすく伝える。
- ・実際の生活場面に合わせて練習する。

03

身体機能・運動能力の向上

【運動・感覚】

運動能力は、自己の身体感覚を通じて、環境とかかわり、社会的・認知的能力を発達させる土台となります。特に感覚統合の発達には、他領域の基礎となります。

- ・粗大運動
特に固有受容覚や前庭覚の発達を促すため、トランポリンやサーキットなど バランス運動で体幹を鍛える。
・しっぽ取りゲームやボールキャッチなどで、協調運動遊びをする。
- ・微細運動
ビーズ通しや折り紙で手指の巧緻性を高める。

05

コミュニケーション能力の向上

【言語・コミュニケーション】

遊びや他者との関わりの中で、言葉の理解と表現を学びます。

- ・自分の思いを伝えるなど、言葉の受け取りや表す支援を行います。（非言語コミュニケーションの方法の活用。）
- ・動作と言葉のマッチング、実体験と言葉のマッチングにより言葉との意味を結びつける。
- ・絵本を読み聞かせ、共同注視を促す。

02

集団生活への適応

【人間関係・社会性】

自分や他者の感情を理解する能力は、健全な関係を築くうえで最も大切なことです。ストレス管理や自己コントロール能力は、適応行動の発達に重要です。

- ・感情カードや絵本などを使い、気持ちを表現する力を身に付ける。
- ・SST プログラムを取り入れ、他者との関係において必要なスキルを身に付ける。
- ・外遊びの中で自然と接しながらルール遊びを行い、協調性や他者理解、思いやりを身に付ける。

04

認知機能・学習能力の向上

【認知・行動】

認知能力は、問題解決能力や社会的理解をはぐくむ基盤となります。記憶や注意力が向上することで、学習能力が強化されます。

- ・図形パズルや神経衰弱遊び。
- ・「見る・聞く・触る」「色・形・数」等を意識した遊び。
- ・天気・日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
- ・ビジョントレーニング視覚認知を高めることにより、注意力・集中力を高める。

家族支援

家族が安心して子育てができるよう、地域や家庭の状況を踏まえ、保護者の気持ちに寄り添い、家族の負担を軽減できるよう支援を行います。

保護者間の交流を目的に、ペアレントトレーニング・ペアレントプログラムを取り入れ、子育ての不安や悩みを共有できる場を提供し、負担を軽減できるよう支援します。

移行支援

地域との交流の機会を確保し、同年代の子供との仲間づくりの場の提供を行います。

地域支援

支援を利用することで子供が地域で適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携、ネットワークを構築します。（こども発達支援センターはネットワークの核となり、子供や家族を中心に据えた包括的支援を提供できる地域づくりを行う役割を担います。）